

解答

一

問一 I ウ II ア III イ IV オ V エ

問二 ウ

問三 鼻

問四 ア

問五 ヤドカリの子供を死なせてしまったのに何食わぬ顔で水に戻した慎一の行動に驚き、動揺したから。

問六 ヤドカリの子供を死なせ、それに気づかないふりをしたことを鳴海に見られて、非難されているように感じ、自分でも自分を恥じていたから。

問七 エ

問八 生まれてる

二

問一 X ウ

問二 ウ、エ

問三

● 乗り越えられない距離

● どうにもならない欠損感

問四 オ

問五 ア

問六 エ

問七 ウ

問八 個的な体験や感情を他者と共有できる形に表現することは、違和感や欠損感をもつという限界はあるが、時間や場所という枠を越えて社会の共有物として残ることができる。

三

① 高気圧

⑦ 朗〔らかに〕

② 芽生〔える〕

⑧ 参拝

③ 査察

⑨ 担〔ぐ〕

④ 生誕

⑩ 退〔ける〕

⑤ 乳液

⑥ 破〔る〕

解説

一

問六

ヤドカリの子供を死なせてしまったところを鳴海に見られ、鳴海に非難されるだろうという意識が「熱い痛み」と表現されていると読み取ることができます。

二

問八

最後の段落で述べられている筆者の主張を要約します。「他者が理解できる」「他者と共有できる」形に「抽象化」「共同化」すること。「個的な体験、痛みや喜びは抜け落ちていかざるを得ない」が、「別の国、別の世界の人と一緒に同じように理解できる何かへの通路ができる」ものが、言語、音楽、文化といったものと述べられています。